

客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

各授業科目の成績評価については、シラバスの「評価方法」欄に記載した通りに成績が出されており、その方法は、本学履修規程第11条に「筆記試験、口述試験、レポート、論文、授業への取組み等により評価するものとする。」と定められ、多角的な成績評価が可能になっている。また、実習の成績評価においては、実習事前・事後評価と、実習先からの評価を併せて、実習委員会で諮り、総合的に評価している。

授業への出席管理は、授業毎に学生署名のマークシート式出席表を配布・回収し、教務部によって一括管理している。本学では、学生一人一人が利用できる学務システム（campus plan）を運用しており、シラバスの閲覧、学生個人の単位の取得状況や履修状況、各授業への出席状況の確認が行えるようになっている。一方、教職員も、学生一人一人の学修意欲の把握ができる。

成績評価は、成績評価はGPA制度を活用し、GPA評価とともに秀・優・良・可・不可によって評価されており、秀・優・良・可の評価に対しては単位を与え、履修を認定している。

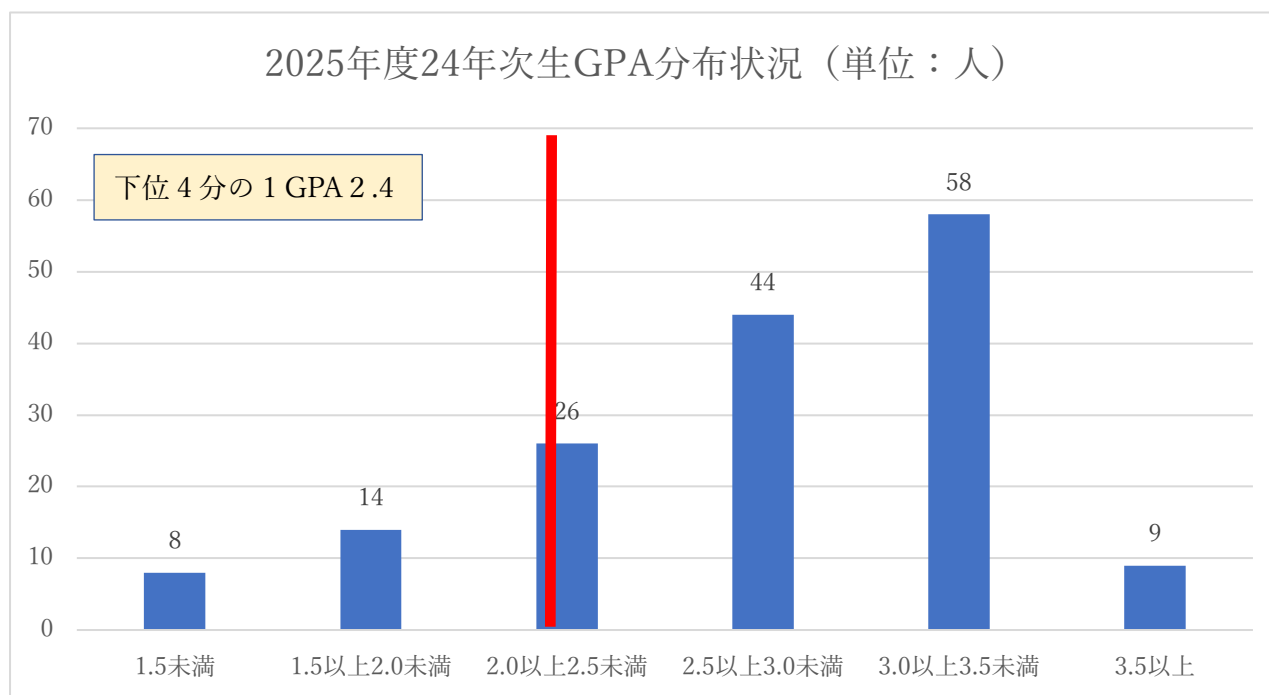
令和元年度より、各学生の履修科目の成績評価を基に、全科目合計点の平均を算出（100点満点で点数化）、評価点数をGPAで指標化し、公開することを始める。

算出方法

各教員から提出された履修科目の成績評価を基に、全教科の合計点の平均を算出する。

下記はその分布を示した表である。（2025年度/令和7年度）

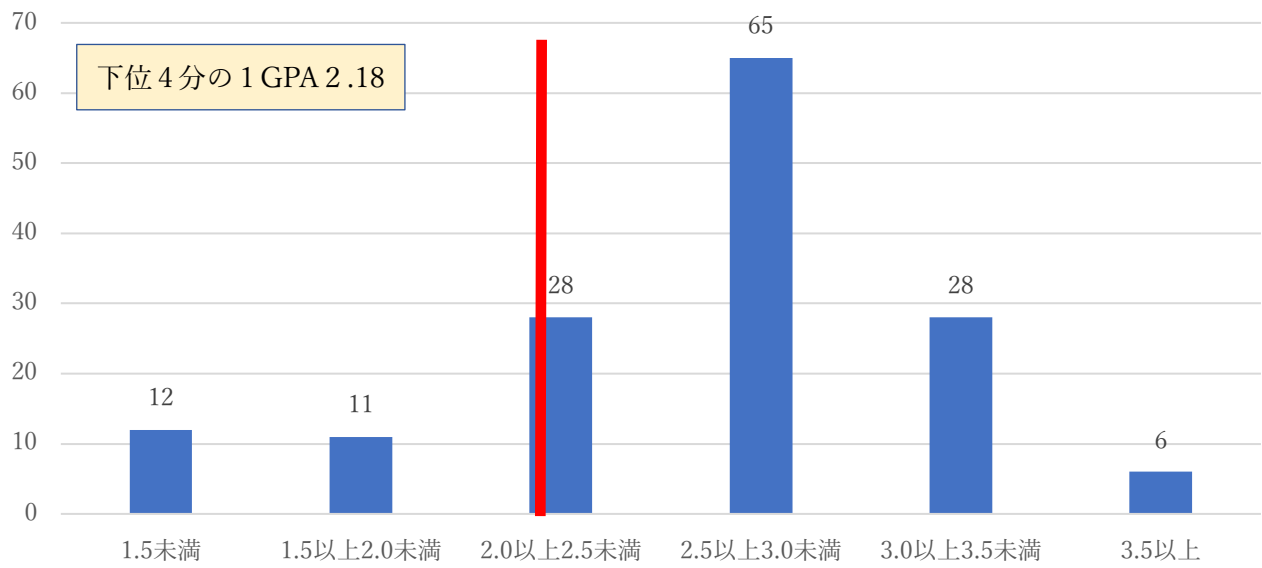
こども教育学科 24 年次生(159 人)



GPA 数値 下位 4 分の 1 GPA2.4 以下 39 名

こども教育学科 25 年次生(150 人)

2025年度25年次生GPA分布状況（単位：人）



GPA 数値 下位 4 分の 1 GPA2.18 以下 37 名